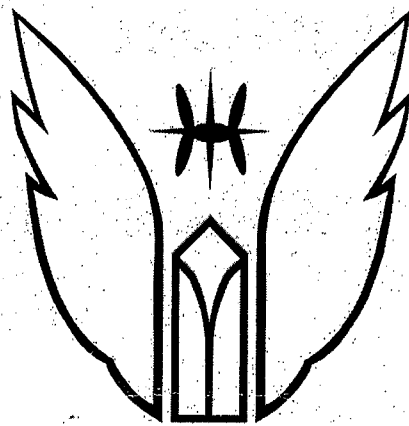


令和7年度 全国盲学校弁論大会 北海道地区予選大会

【プログラム】



日時 令和7年7月4日（金）

10:00～12:30

会場 北海道札幌視覚支援学校 体育館

主催 北海道盲学校文化体育連盟

毎日新聞社点字毎日

北海道盲学校長会

主管 北海道札幌視覚支援学校

大会次第

1 開会のことば

北海道札幌視覚支援学校副校長 坪川 寛司

2 大会長挨拶

北海道札幌視覚支援学校長 井上 敬

3 審査員紹介

北海道札幌視覚支援学校副校長 坪川 寛司

4 審査方法説明

大会事務局

5 競 弁

6 休憩・審査協議

7 成績発表

8 審査講評

星槎道都大学特任教授 木村 浩紀

9 表彰

北海道札幌視覚支援学校長 井上 敬

10 閉会のことば

北海道札幌視覚支援学校副校長 坪川 寛司

大会審査員

審査員長

星槎道都大学特任教授

木村 浩紀

審査員

札幌アカシヤライオンズクラブ幹事

京極 琢弥

札幌アカシヤライオンズクラブ

石丸 弘子

札幌チャレンジド理事長

加納 尚明

表彰

最優秀賞 1 名を表彰する。なお、最優秀賞受賞者が全国大会の出場権を獲得する。

全国大会

令和 7 年度の全国大会は、10 月 3 日（金）の日程で、岐阜県立岐阜盲学校を主管校としての開催となります。

審査規定および方法

1. 論旨 70 点、話術・声量・聴衆の感銘度各 10 点の合計 100 点で審査する。

2. 審査の観点は以下の通りとする。

(1) 論旨 70 点

- (ア) 論旨の構成が一貫しているか。
- (イ) 論旨と論題が合致しているか。
- (ウ) テーマに対する分析、把握がなされているか。
- (エ) 自己の主張が明確であり、新鮮さがあるか。
- (オ) 全体として人間への愛情があるか。
- (カ) 正しくわかりやすい言葉が使われているか。

(2) 話術 10 点

- (ア) 論旨と人格、個性が合致しているか。
- (イ) 闘志と情熱、愛情があるか。
- (ウ) 謙虚で誠実な態度、自然な表現であるか。

(3) 声量 10 点

- (ア) 一節一節が明確に発音されているか。
- (イ) 場に適した聞きよいものであるか。
- (ウ) 音量豊かでリズムカルであるか。

(4) 聴衆の感銘度 10 点

(ア) 聴衆に訴えようとしているか。

(イ) 聴衆に深い感銘を与えたか。

3. 順位は各審査員の点数で出場弁士の順位をつけ、その順位の合計点の少ない者を上位とする。同点の場合は得点の多い者を上位とする。
4. 持ち時間は 1 人 7 分とする。6 分で第 1 鈴、規定時間で第 2 鈴を鳴らし、注意する。
5. 弁論の計測範囲は、弁士の第一声から、最後の言葉までの時間とする。
6. 時間超過の場合は減点することがある。超過 5 秒を超える時は得点の 10% を減点する。5 秒以内の場合は審査員の協議により、減点適用の可否を決定する。
7. 原稿を触読または見ながらの弁論は原則禁止する。
8. 名前や顔写真等を各種媒体に掲載することに制限のある生徒の出場は原則不可とする。
9. その他、問題が生じた場合は審査員で協議する。